留萌の二十五年を振り返る

題字留萌市長　原田栄一

■わたしたちのまち留萌市が〝二十五歳〟を迎えました。

留萌市は、かっては鰊の千石場所として自然にはぐくまれてきましたが、港湾の整備も進み、道北経済圏の担い手として大きく息づいています。

ここに、市制施行いらい二十五年の歩みを、年表式にひろって見ました。

■明るく健康な市民生活――激しく移り変ってゆく社会の中で、わたくしたちのまち、留萌は、この先どう飛躍し、どう姿を変えてゆくのでしょうか。

三十歳、五十歳に向かって留萌の発展を見守りたいものです。

20年代のるもい

22年のころ

いよいよ留萌市の誕生の年

一月　市制施行促進町民大会が開かれる。

二月　市制施行促進期成会が設立

四月　町長に原田太八が就任。

四月　四十栄助三郎が道議会議員に当選。

五月　留萌中学校が開校する。

五月　幌糠中学校が開校する。

九月　労働基準監督署が設置される。

十月　市制施行、留萌市となる。

十月　初代市長に原田太八が就任

十月　留萌市民歌ができる。

十二月北海道留萌統計事務所が設置される。

23年のころ

市内に新町名がつけられる

四月　留萌高等学校が発足する。

五月　留萌海上保安部が設置。

七月　第一回留萌港利用経済会議が行なわれた。

〃　第一回商工港まつりが開催される。

八月　留萌・函館・大阪・博多を結ぶ裏日本定期航路が開設となる。

十月　市制施行一周年記念を開催

〃　市内に新町名が制定となる

十一月道教育委員会留萌教育局が発足する。

〃　米軍の駐留基地となる。

24年のころ

上水道二期拡張工事に着手

一月　玉置信一が衆議院議員に当選する。

三月　上水道第二期拡張工事に着手する。

四月　鰊を大漁する（鰊景気の最後となる）

五月　留萌・東京・清水・名古屋を結ぶ表日本定期航路開設

六月　留萌電報電話局が開局。

〃　食糧事務所留萌支所が設置

十一月北岸で配炭公団の石炭発火

〃　留萌市南北の農業協同組合が合併し、留萌市農業協同組合が設立される。

十二月藤山ダム（藤山遊園地）が完成する。

25年のころ

故五十嵐億太郎に名誉市民の称号

一月　第一回留萌地方スキー大会が開催される。

四月　道立女子高等学校を道立留萌高等学校に併合する。

五月　港南中学校が開校する。

九月　市立国民健康保険診療所（東病院）を設置する。

十月　市制施行三周年記念を開催

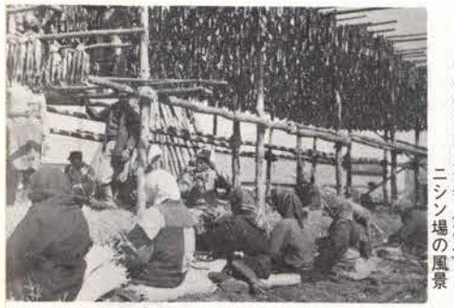
十一月五十嵐億太郎に市特別功労章を贈与する。

26年のころ

三月　市立留萌図書館を設置

〃　上水道第三期拡張工事に着手

〃　自衛隊誘置運動が始る。



↑市制施行町民大会（22年）
ニシン場の風景

30年代のるもい

27年のころ

見晴公園の造成が始まる

四月　四十栄助三郎が道議に当選

〃　伊佐津和平に市功労章を贈与する。

〃　道相互銀行留萌支店が開業

〃　立花徳太郎に市功労章を贈与する。

十月　玉置信一が衆議に当選。

〃　留萌市教育委員会が発足する。

28年のころ

一月　留萌中学校が火事になり一部焼失する。

四月　玉置信一が衆議に当選。

七月　大水害で甚大な被害にあう

八月　留萌航路標識事務所が設置

十一月自衛隊が駐とんする。

29年のころ

台風15号で大被害

三月　橋本作市が市長に就任。

五月　原田太八に特別功労章を贈与する。

五月　留萌港が重要港湾に指定。

〃　電話が共電式になる。

〃　留萌で初の敬老会が開催。

〃　留萌市農業委員が発足。

〃　蓼沼ナヲに市文化賞、田辺惣治に市文化奨励賞を贈与する。

〃　芦別高根炭砿㈱が留萌砿（豊平砿）を譲り受け営業を開始。

〃　留萌支庁の羽幌移転運動が起る。

九月　台風十五号で大被害を受ける。

十一月田中進一、留萌朗読研究会に文化奨励賞を贈与する。

〃　米国駐留軍が引揚げる。

玉置　信一

27年ごろの黄金岬

31年遭難した少女の慰霊碑

30年のころ

四月　泉谷順治が道議に当選。

五月　樽真布中学校が併設校として開校。

六月　留萌川改修工事促進期成会ができる。

31年のころ

青年会議所が創立

二月　猛風雪で少女二人が遭難死する。

三月　旭川法務局留萌支局が設置

〃　留萌・東京間の定期航路が開設される。

〃　高松宮ご夫妻が来留。

〃　千望台道路が整備される。

十一月原田武夫に文化奨励賞を贈与する。

十一月伊佐津和平に市文化賞、高木憲一に市文化奨励賞を贈与する。

32年のころ

留萌・東京の定期航路就航

七月　開基八十周年、市制十周年記念事業を開催する。

〃　市制功労物故者の追悼慰霊祭を執行する。

〃　市営球場が完成する。

（下）32年ごろの市内大通り